

放課後等デイサービス山形コロニー シード【自己評価表】

放課後等デイサービス山形コロニー シード では、事業所が提供するサービスの質について、評価・点検を実施しました。
より良いサービス提供を目指すとともに、自己評価を公表することで、地域みなさまに安心して利用していただくことを目的としています。なお、この自己評価表は厚生労働省が定める「放課後等デイサービスガイドライン」をもとに作成した「保護者向けアンケート」の回答結果、及び自事業所の自己チェックとなる「事業所向けアンケート」の意見等を踏まえ、「自己評価」としてまとめたものです。

「○」：おおむね良好といえる 「▲」：より良くしていきたい 「×」：改善が必要

		チェック項目	保護者向けアンケートによるご意見等	自己評価	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	—	○	・当日の利用児童数によっては、訓練室が狭いと感じることもあるかと思ひます。訓練カリキュラムでの振り分け、スペースを有効に活用する等、工夫しながら支援しています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	—	○	・法令で定められた基準以上に人員を配置しております。今後も支援上必要な人員配置に努めます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	—	○	・福祉施設における建物基準は満たしております。 ・建物2階に行く際にはエレベーターも設置されておりますので、ご利用下さい。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	—	○	・支援開始前、支援終了後に毎回スタッフミーティングを実施しています。また、毎月定例の会議を開催し、業務改善に努めています。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	—	○	・保護者向けアンケート結果の評価・ご意見を参考にしながら、より良いサービス提供を目指し、今後も業務改善に努めていきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	—	○	・自己評価結果をホームページにて公開しています。今後も継続していきます。
	⑦	第三者による外部評価を行い、調査結果を業務改善につなげているか	—	▲	・現状、第三者の外部評価は依頼していません。 ・法人内部でのチェック機能の強化も視野に、今後も業務改善に努めてまいります。
	⑧	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	—	○	・外部研修に加え、法人及び事業所内での伝達研修や内部研修等を定期的に実施し、専門性・資質の向上に努めています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題等捉えた放課後等デイサービス計画を作成しているか	—	○	・保護者、利用児童とのアセスメントにて現状の課題や目標、ニーズについて確認しつつ、段階的に達成できるような計画を意識し作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	—	○	・標準化された独自のアセスメントツールを使用していますが、シードでの活動内容から確認できた情報を、ご家族様に定期的なフィードバックを行う部分がまだ十分ではないと感じております。引き続き、努めていきたいと思ひます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	—	○	・毎月の定例会議、毎日のスタッフミーティングにて、個別支援計画や意向に沿った活動プログラムや課題に合わせた活動を提供できるよう企画・立案しています。
	⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	—	○	・それぞれの目標や発達段階に応じて、各種作業体験、生活自立度・社会性やコミュニケーション能力の向上支援など、意向に沿いつつ、将来を見据えた活動プログラムを日々工夫しながら設定しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	—	○	・日々のスタッフミーティングにて課題・目標を共有し、1人ひとりに応じた活動を企画・提供しています。長期休暇期間には、職場体験や職場見学等、将来のイメージ作りや放課後では経験できない活動機会の提供にも注力しています。
	⑭	活動プログラムは個々の計画に応じた工夫がされているか	—	○	・個別支援計画の目標や課題・意向を基に、個別活動・集団活動等を組み合わせながら、1人ずつ活動プログラムを立てております。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	—	○	・1日1日の支援予定表を作成しています。スタッフミーティングにて当日の支援内容・時間設定・役割分担について確認しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	—	○	・支援終了後にスタッフミーティングを実施しています。当日の活動状況の振り返り、情報共有及び支援方法の検討等を行っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	—	○	・5W1H、事実と推測を意識しながら記録しています。第3者が見ても、支援状況が正確に理解できるように努めています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	—	○	・6ヵ月以内に一度を基本としつつ、必要に応じ適宜モニタリングを実施しています。支援の進捗状況、達成度、意向等を考慮しながら、適宜計画内容を変更しています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	—	○	・職業体験、作業体験、自立度向上支援、創作活動、地域交流機会、余暇活動等、可能な限り多様な活動プログラムを提供できるよう努めています。 ・「できた」という成功体験の蓄積を重視し、自信の醸成、自己理解、自己選択できるよう支援しています。

		チェック項目	保護者向けアンケートによるご意見等	自己評価	改善目標・工夫している点など
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	—	○	・児童発達支援管理責任者が参加しています。児童発達支援管理責任者に加え、必要に応じて直接処遇職員も参加してもらっています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	—	▲	・年間・月間予定表をいただいたり、適宜電話連絡やケース会議など、情報共有が概ね図れていますが、密に連携が取れていない学校もあるので、今後一層の連携を図れるように努めます。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	—	○	・医療的ケアが必要な児童は現在利用していません。必要に応じて主治医との連絡体制を確立し、緊急時の対応ができるよう努めます。
	㉓	子どもが他の放課後等デイサービスを利用している場合、放課後等デイサービス間で情報共有と相互理解に努めているか	—	○	・支援状況や活動内容等、相談支援事業所とも連携しながら、他放デイとの役割分担の確認や情報の共有に努めています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	—	○	・相談支援事業所とも連携しながら、障害福祉サービス事業所はもちろん、一般企業等への移行会議等にも積極的に参加しています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	—	○	・児童発達支援センター、発達障害者支援センター、障害者職業センター等、各専門機関の研修には積極的に参加しています。講師派遣依頼等も実施しており、助言をいただきながら支援の参考にさせていただいております。
	㉖	地域の方々との交流や、地域の中で活動する機会があるか	—	▲	・地域のお祭りへの参加や地元の職場体験学習の企画など、地域の中での活動の機会がありますが、多くはありません。現状、中高生を対象としてグリーゾーンの方も多く在籍しており、一部の児童は他の学校の知り合いと会いたくない等の意向もあり、活動の充実には難しい面もあるかと思います。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	—	○	・自立支援協議会（子ども部会）が開催される度、毎回参加しています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	・モニタリングの時、集団の中での課題や適切な支援の情報が少なく伝えにくいと感じています。三者面談（シード、相談、保護者）のような形の機会があれば共通理解ができるのかなと思います。	▲	・連絡帳で活動や連絡事項の記載、必要に応じての電話連絡、お迎えの時に状況をお伝えするなどしていますが、まだまだ日々の情報共有が十分ではなかったと思われます。また、ご意見にあった関係機関と保護者が同時に会して話し合う機会も不足しております。今後、共通理解を深めていけるよう、積極的な連携に努めていきます。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	—	▲	・進路相談などの機会に、地域の社会資源や就労情報等の情報提供は必要に応じてしていますが、ペアレントトレーニング等の研修会は実施していません。引き続き、保護者向けの研修会等を検討していきたいと考えております。
保護者への説明責任等	㉚	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	—	○	・利用契約の際に説明しています。運営規程・重要事項説明書等に変更がある場合には、随時説明しています。
	㉛	保護者に対して面談や、子育て・進路等に関する助言等の支援が行われているか	・具体的に前向きな助言をいただき、うれしく思います。	▲	・面談時や送迎時等において個別に実施したり、要望があれば、随時保護者からの相談に応じていますが、すべての保護者の方に回数、内容ともに充実して提供しているとは言い難いです。より多くの機会が持てるようこれからも努めていきます。
	㉜	児童・保護者が一緒に活動できる機会の提供により、活動している利用者同士の交流の機会や、保護者同士の関係づくり等が提供されているか	—	▲	・保護者の方々も共に参加できるような行事・研修会を企画・開催していますが、都合などにより参加人数が伸びていないのが現状です。より保護者同士の連携を支援できるよう機会の提供等、検討していきたいと考えています。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	・苦情と言ったことがなかったのでどちらとも言えない。	○	・苦情受付担当者や解決責任者、苦情解決委員会等の体制を整備し、迅速に対応できるようにしています。 ・苦情の有無／解決状況等の周知については、不十分な面もあるかと思われます。今後、周知方法等についても検討していきます。
	㉞	定期的に会報を発行し、活動内容や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	—	▲	・シードだよりの発行やホームページでのブログの更新も行っておりますが、周知がまだ不十分と思われます。定期的に、情報発信できるよう努めていきます。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	—	○	・個人情報に記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しています。また、データについてはパスワードを設定する等、適切な対応を図っています。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	—	▲	・必要に応じて視覚支援ツールやその他補完ツール等を作成する等、わかりやすく情報伝達できるよう配慮しています。1人ひとりに合わせた支援のために、より良い方法をこれからも模索していきます。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	—	○	・事業所单独でのお祭り（シード祭り）には、地域の学校の先生方を招待したり、協会行事にも積極的に周知しながら開かれた事業運営に努めています。

		チェック項目	保護者向けアンケートによるご意見等	自己評価	改善目標・工夫している点など
非常時等の対応	③⑧	緊急時の対応や防犯、感染症などの対応についての手引きを策定し、保護者に周知・説明されているか	—	▲	・各種マニュアルについては、法人で策定し職員には周知していますが、そのすべてについては保護者には周知できていません。保護者の方にもわかりやすい内容等を検討し、周知・配布していけるよう努めます。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	・訓練を実施しているかわからない。	○	・年2回、避難訓練を行っています。事業所単独でも定期的に避難訓練を実施しています。連絡帳にも記載はしていますが、保護者の方への周知は不十分なため活動状況がわかりやすく提示できるように努めます。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	—	○	・毎年、職員研修の機会を利用し虐待防止研修を開催しています。日常的に虐待の有無について確認し適切な対応が図れるよう心がけています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	—	○	・「やむを得ず身体拘束を行う」といったケースは現状ありません。今後、身体拘束のケースが想定される場合には、必要な手順・方法を遵守し計画に記載します。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師指示書に基づく対応がされているか	—	○	・食物アレルギーの有無等については、利用開始時に必ず確認しています。必要に応じて医師指示書を提出いただき対応しています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	—	○	・事例集という形にはなっていませんが、日々のスタッフミーティングにて「ヒヤリ・ハット」の有無を確認・記録し、ファイリングしています。
満足度	④⑭	子どもは通所を楽しみにしているか	—	▲	・利用児童全員にとって居心地がよく、楽しい環境になっているとはいい切れません。意欲を持って取り組める活動や自信をもって取り組める部分が増えるように、成功体験や経験を蓄積出来るよう、今後もより良い支援に努めていきます。
	④⑮	事業所の支援に満足しているか	・大変満足しています。今後もしょろしくお願いいたします。	○	・保護者の方のニーズや本人の希望もお聞きしながら、それぞれの発達段階や障害の程度・特性に合わせ、いろいろな経験が出来るよう支援しています。これからもより良いサービスを目指し努めていきます。

職員の配置状況（令和2年2月1日現在）
施設長：1名、児童発達支援管理責任者：1名、児童指導員：5名

職員の資格 等（令和2年2月1日現在）
社会福祉士：4名、精神保健福祉士：1名、介護福祉士：1名、保育士：1名、児童指導員：1名 高等学校教諭一種：1名、中学校教諭一種：1名、小学校教諭一種免許：1名、養護学校教諭一種免許：1名 訪問型職場適応援助者：1名、強度行動障がい支援者養成研修修了者：4名、SST社会生活技能訓練研修修了者：1名